

令和7年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・(知) 昨年度は作品展があり、大きな画用紙に描く経験を積ませることができた。今年度も継続して、経験を蓄積させていくことが必要である。
- ・(思) 全学年で鑑賞の際に、感じたこと・思ったことを表す言葉をクラスで集め、掲示物をつくってから鑑賞を行うことで、鑑賞の学びが深まった。
- ・(主) 造形遊びは意欲的に楽しんで取り組むことができていた。普段使わない材料や活動場所との出会いに、児童自身が新しい価値を見出すことができた。

(2) 課題

- ・(知) 絵の具の使い方・構図の表し方・表したいことに合わせた描き方の基本的な技術力に個人差がある。
- ・(思) 作りたいもののイメージを広げる際、イメージを持てなかったり、何かの真似になってしまう場合が出てきてしまう。
- ・(主) 意欲的に活動する児童が多い反面、製作活動に取り組む際に集中力が持続せず、表したいことを追求する意識が低下している児童も一定数いる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
はさみ、のり、絵の具、クレパス、粘土などを使う活動を繰り返し設定し、用具に慣れさせる体験を積み重ねる。 見本で構図の説明や書く順番など基本的なことを指導し、自分の思いを表現できるようにする。	好きなものや生活経験をもとに、自分が表現したいものに対して、ストーリー性をもたせ、言葉で伝えたり、表したりする時間を設定する。	学習時間をいっぱいに使って表したいことを追求して活動ができるように、絵や工作の中の物語を、考えたり共有したりする時間を設ける。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵の具の使い方の指導事項を全学年で統一し、児童が基本的な知識・技能を定着できるように図る。 背景色や構図の決め方を題材の導入に指導することで、児童の表現方法を増やす。	他学年の作品を見る機会を作り、活動に対する考えが広がるようにする。 イメージを膨らませて活動ができるようなワークシートづくりを工夫する。	進捗の確認や活動の自己評価ができるように振り返りシートを工夫し、児童が進んで活動の見通しをもって、粘り強く取り組む態度を養えるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵の具の使い方の指導事項を全学年で統一し、児童が基本的な知識・技能を定着できるように図る。 背景色や構図の決め方を題材の導入に指導することで、児童の表現方法を増やす。	他学年の作品や身近な美術作品を鑑賞できる機会をつくり、活動に対する考えが広がるようにする。 イメージを膨らませて活動ができるようなワークシートづくりを工夫する。	進捗の確認や活動の自己評価ができるように振り返りシートを工夫し、児童が主体的に活動の見通しをもって、粘り強く取り組む態度を養えるようにする。